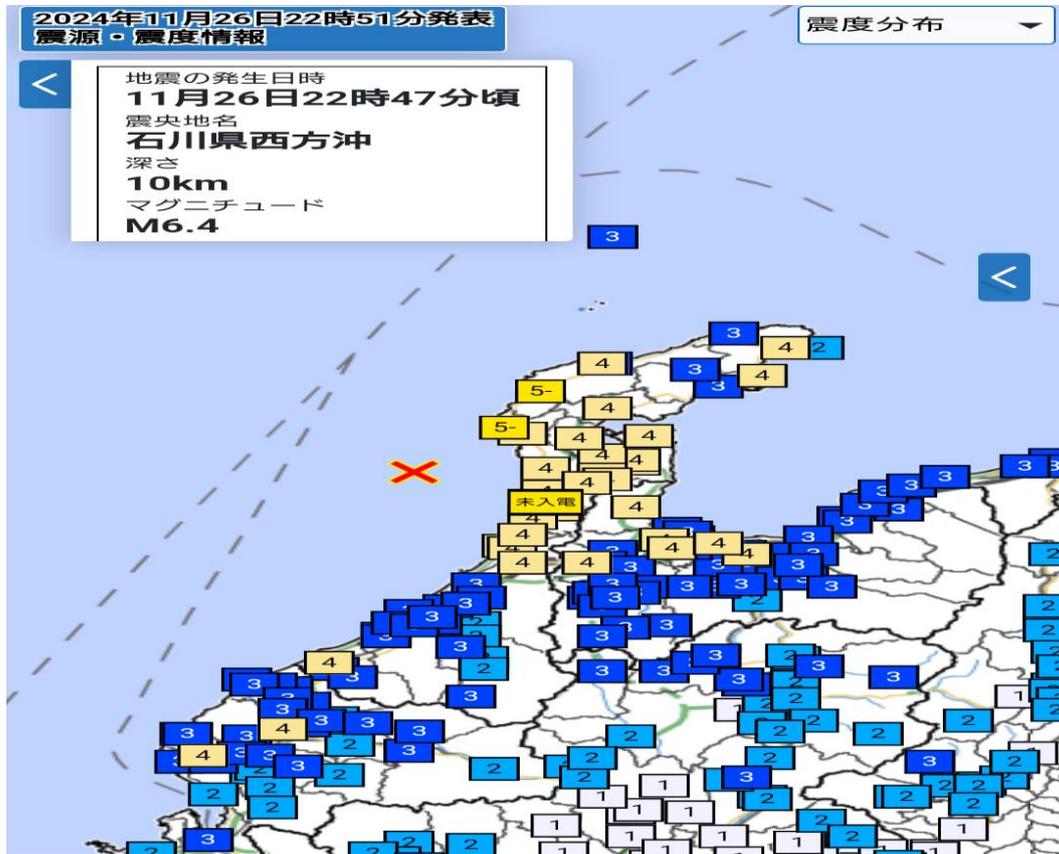


能登地方の地震再び



11月26日午後10時47分ごろ、石川県西方沖の深さ7キロ（暫定値）を震源とするマグニチュード6.6（暫定値）の地震が発生しました。この地震で震度5弱の揺れを石川県の輪島市と志賀町で観測しました。石川県で震度5弱以上の揺れを観測したのは、今年の6月3日に石川県能登地方を震源とするマグニチュード6.0の地震以来です。

増え続ける犠牲者

石川県は11月28日、能登半島地震による建物倒壊などで死亡した「直接死」が228人になったと発表しました。また、12月6日、新たに12人を災害関連死として認定しました。これにより、石川、新潟、富山3県の地震による死者は、災害関連死247人を合わせて475人になりました。災害関連死で亡くなった人数が直接死で亡くなった人数を上回りました。災害関連死者数は今も増えていて、被災地では困難な生活を余儀なくされている人が多くおられることが分かります。今後も能登地方を注視していく必要があります。

能登地方は依然として地震が頻繁に発生しています。今年の冬は日本海側で平年よりも寒く、大雪傾向となっていることもあり、被災地では厳しい冬の予想となっています。私たちには募金活動をするなどできることがあります。舞子高校は12月22日にJR垂水駅周辺で募金活動を行う予定です。ぜひ、皆さんもお時間があれば募金活動にご協力をお願いします。